

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、11～20℃台を示し、平年並みからやや高めでした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり35トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マイワシが1日1統当たり4トンの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり30トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり34kgの水揚げで、前週の3.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり50kgの水揚げ（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり1kgの水揚げ。
- 定置網――五島有川地区では、マイワシなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。五島魚目地区では、マイワシなどが1日1統当たり6.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ササイカなどが1日1統当たり27kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり212kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり244kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期(2/14～2/18の5日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、日本海、主に対馬沖、見島沖で操業及び調査を行った。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、休漁。

鳥取県西部(沖合船)は、2日延6隻、総計204箱、1航海最高97箱、平均34箱。スルメイカ(20～25入)116箱、ヤリイカ(2～4立)88箱の混獲となった。

(漁業情報サービスセンターより)

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>